

# 西田地区小中学校統合に向けて No.1

平成 28 年 2 月 22 日 郡山市教育委員会



西田地区の小中学校は、少子化による児童数の減少のため、地域の皆様の要望を受けて、5つの小学校を統合するとともに、西田中学校との小中一貫教育※1による新しい学校づくりを進めてまいります。これから、新しい学校づくりに向けた考え方や進み具合などについて、随時皆様にお届けいたします。

## 新しい学校の基本構想

21世紀をリードする人材を育てる「オープンカリキュラム※2」による学び創造学園構想  
《全国トップレベルの教育水準を目指した西田地区小中一貫教育》  
～ 一人一人の学びを最大限に生かす先進的な教育システムの導入 ～

### 教育理念 と重点施策

9年間の小中一貫教育の推進により、  
地域とともに児童生徒一人一人の夢を叶える学校

#### 学力の育成

- ・専門性を生かした学び（教科担任制※3）
- ・自ら判断し、他に働きかけて課題を追究する学び
- ・習熟度※2や学習課題に応じた学び
- ・学級・学年の枠を超えた学び※2

1人1台  
タブレット端末

#### コミュニケーション能力の育成

- ・小中一貫教育を生かした異学年交流
- ・地域との交流
- ・地域から市、日本、世界に広げた交流
- ・常に英語に触れられる学習環境

地域、国内外と  
コミュニケーション

#### 健康な体づくりと体力、運動能力の向上

- ・9年間を通して取り組む体育活動
- ・専門的な体育指導
- ・健康長寿のための体づくり、食育※4の充実

運動や成長の記録の蓄積で課題を把握

#### ICT環境整備

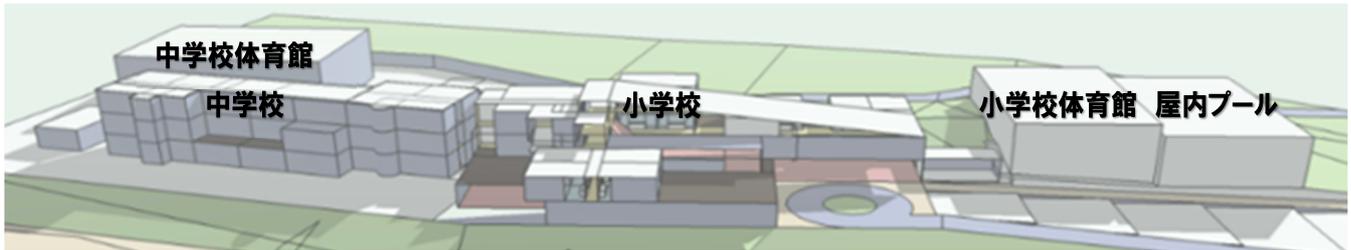
地域を基盤とした教育活動支援体制の充実

コミュニティ・スクール※5の構築



このページの※1～※5の用語の説明については、裏面をご覧ください。

## 新しい学校の建設イメージ図



### 用語解説

#### ※1 「小中一貫教育」

教育目標や教育課程（教育内容を学習段階に応じて配列したもの）を、9年間一貫性をもたせた教育です。9年間の学習のつながりの強化、中学進学時の不安の解消など、様々な効果が期待できます。本市では湖南小中学校、明健中学校区の小中学校で小中一貫教育が行われています。

#### ※2 「オープンカリキュラム」「学級、学年の枠を超えた学び」「習熟度」

教育課程では、小1～中3まで学年ごとに、教科ごとに学習内容が決められています。また、授業は学級ごとに行うようになっています。これは、新しい学校でも行っていきます。

それに加えて、学級の枠を超えた学習活動や学年の枠を超えた学習活動ができる機会も考えています。これを、オープンカリキュラムといえます。

##### 学級の枠を超えた学習活動とは

児童生徒と十分相談した上で、学習したい内容（習熟度）のコースを決めて、個々の学びを重視しつつ、小集団などでの様々な学びのスタイルに合わせて課題に取り組む学習活動をいいます。（例）じっくりコース、実戦コース、発展コース など

##### 学年の枠を超えた学習活動とは

まだ習っていないところを自分の力で学習するような「先取り学習」や習ったけれど自信のないところをもう一度復習するような「学び直し学習」などです。

#### ※3 教科担任制

中学校や高校で各教科ごとの教師が学級に来て授業を行うことをいいます。

小学校では学級担任がすべての教科の授業を行う「学級担任制」を行っています。

新しい学校では、小学校でも各教科ごとに専門の先生が学級に来て授業を行う「教科担任制」を発達段階に応じて取り入れようと考えています。

#### ※4 食育

いろいろな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力をつけ、健全な食生活をおくることができる力を育てる教育のことです。子どもたちに食育を行うことで、生涯にわたって健康を維持するための「食」について学んだことを自らの食生活に生かすとともに、家庭や地域もまきこんで、地域全体の健康長寿をめざすことを考えています。

#### ※5 コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に皆様の意見を反映させることで、学校・保護者・地域が一緒になって子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。